

(別紙3)

(新) 2008年サラゴサ国際博覧会における普及啓発事業調査
20百万円(0百万円)

水・大気環境局水環境課

1. 事業の概要

サラゴサ国際博覧会は、2008年(平成20年)6月14日から9月13日に、スペイン国アラゴン州サラゴサにおいて、「水と持続可能な発展(Water and Sustainable Development)」をテーマとして開催される。目的としては、人類の生存に欠かせない「水」との新たな関係を構築する必要性を、地球規模で考える枠組みを創造することである。

平成18年3月に開催された第4回世界水フォーラム閣僚級会議において、「水と環境」のテーマが新たに設けられる等、近年、水問題解決に向けた環境的な側面がより重視されている。

環境省はこれまでも、アジア・モンスーン地域における水環境保全に係るデータベース構築に取り組むなど、世界の水問題の解決に向けて貢献してきており、こうした経験を踏まえて、今回の博覧会においても、我が国が水環境保全の重要性について世界的に発信することが期待されている。

このため、サラゴサ国際博覧会における我が国の水環境保全のための取組のPRや、水に関する様々なステークホルダーと連携したイベント等、水環境関係の普及啓発活動を実施するための検討を行い、博覧会開催期間においてイベント等を実施する。

2. 事業計画

調査項目	H19	H20
水環境関連施策のPRやイベント等の実施内容の検討	←→	
パンフレット等の作成	←	→
博覧会開催期間における普及啓発活動の実施		←→

3. 施策の効果

水質汚染を中心とした公害を克服した経験を背景として、高い水環境汚濁対策技術を有する我が国が、環境技術や対策のノウハウを世界に発信することによって、世界の水環境保全に貢献することができる。